
◆◇◆

<北山会長ニュースレター> 第5信

会長発案による会員向けのサービス企画です。ぜひご参加ください。

（企画の趣旨については学会ホームページ、あるいはニュースレター前々号参照）

第4回 パンデミックへの福祉支援現場の対応とそこから顕れてきた課題を考える
～次なるパンデミックに備える議論素材としての中間報告～

【主催】社会デザイン学会 会長 北山晴一

【日時】2020年10月18日(日) 14時～15時45分 ※最長16時まで

【形式】ZOOM&動画によるオンラインレクチャー（レクチャー、コメント、フリートーク）

【講師】三浦建太郎 立教大学大学院 21世紀社会デザイン研究科 特任准教授

【趣旨】

新型コロナウイルスのパンデミックの災いは、地域を問わず、富裕層も貧困層も、男性も女性も分け隔てなく降り掛かったという。しかし、実際には、高齢者や病人など健康上の不安のある人、非正規雇用労働者、個人事業主など生活基盤の弱い人、エッセンシャルワーカーなど働き方の選択肢を持ちづらい人など、より弱い立場にいる人々が、大きな負担を強いられている。

今回のレクチャーでは、まず、高齢者介護、生活困窮者支援、児童養護、心のケア等の領域での支援対応状況と当事者の姿を報告するとともに、福祉の視点から、パンデミックが社会に及ぼした影響の整理を試みる。

そして、最も懸念する課題として、「人の生活を守り支える」最後の砦とも言える医療および介護福祉の支援体制の維持が、その職に従事する人個人の「頑張り」に過剰に依存している問題と、自助が弱く頼るべき支援者も得られない人が、社会に見捨てられる危機に瀕することの問題を指摘したい。

【内容】

現在、パンデミックはまだ収束しておらず、これはあくまでも中間報告である。レクチャーに参加する幅広い見識をお持ちの皆さんから、様々な意見、見解を得て、議論を深めることを目的とする。

【対象】学会会員 及び 会員紹介者(研究科院生、学部生、一般)

【要件】参加費は無料

ただし、ZOOM アプリをインストールした PC または スマートフォンが必要となります。

※ZOOM のアカウントを作る必要ありません。

また、PC で参加の場合、発言をするには PC 内臓 または 外付けのマイクが必要となります。

【定員】30名（定員になり次第、締め切ります。）

【申込】事前に info@socialdesign-academy.org までメールで申し込みください。

※会員紹介者の方は、申込メールに紹介者名を明記してください。

申込者には、後日に参加に必要な URL・ID・パスワードを電子メールで連絡します。

《社会デザイン学会事務局》

TEL : 03-6822-9901

業務時間 : 9時30分～17時
